

紙文書の不正持ち出しをブロックする “ 文書持ち出し監視 / ドキュメント棚卸システム ”

虎渡昌史* 伊藤俊之***
村上耕平*
末沢康弘**

Confidential Paper Documents Management System
Masashi Torato, Kohei Murakami, Yasuhiro Suezawa, Toshiyuki Ito

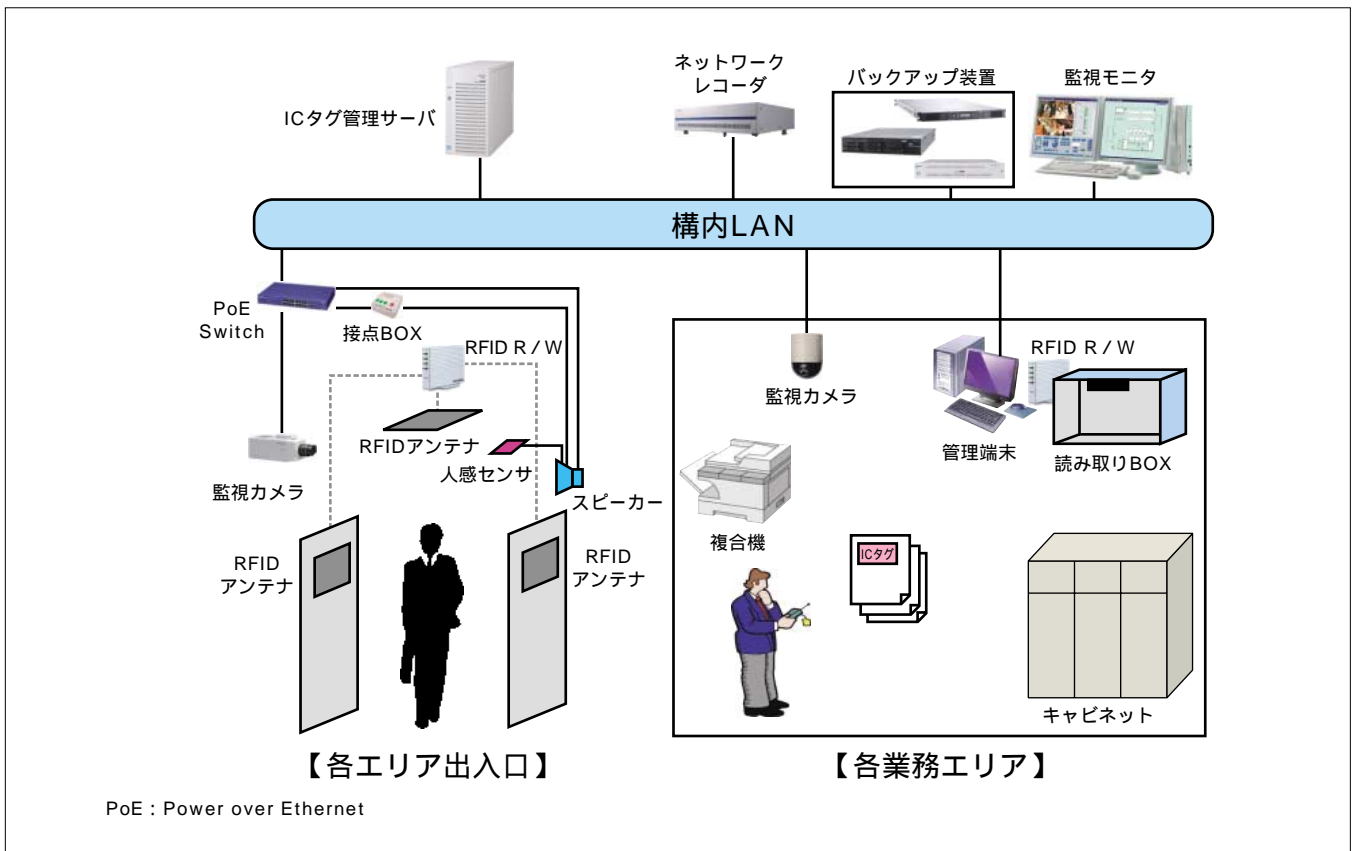
要 旨

個人情報保護法の施行や内部統制への取り組みが進む中、企業ではセキュリティに対する要求が高まっており、その対象は電子データに限らず印刷物の紙文書にもおよび。電子データはシステムやツールで均質な統制が実現可能であるが、紙文書に対しては人手に頼るところが多いため、確実性の面や管理負荷の面で問題がある。

三菱電機インフォメーションシステムズ(株) (MDIS) では、RFID (Radio Frequency IDentification) 技術を活用することで、この問題を改善するための新たなドキュメント管理ソリューション(文書持ち出し監視 / ドキュメント棚卸システム)を開発した。このシステムは、RFIDアンテナを内

蔵した各業務エリア出入口のゲート設備及び管理端末によって、IC(Integrated Circuit)タグを添付した紙文書の不正持ち出しを監視することができる。

ICタグの利用は管理番号の目視やバーコード読み取りによる方法に比べてより効率的な持ち出し管理ができるほか、ドキュメントの定期的な棚卸が容易に行えるようになり、不正持ち出しの検出をより確実なものとしている。また、監視カメラシステムと連動することで持ち出し時の証跡記録としての利用のほか、不正持ち出しに対する抑制効果の面でも有効な仕組みとなっている。



“ 文書持ち出し監視 / ドキュメント棚卸システム ”のシステム構成

各業務エリアの出入口にゲート設備を設置して、紙文書の不正持ち出しを監視する。不正持ち出し時には、ゲートでの警報と所定の情報の記録を行う。また、監視カメラによる録画から、持ち出し時の状況を容易に検索することができるよう、録画情報へのインデックス付けを行う。ゲートでの検出漏れを補完するために、管理端末で定期的に紙文書の棚卸作業を実施する。